

## 評価項目・評価基準

## 1 事業者・従事者の技術力（対象：提出書類）

## (1) 事業者

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体からの業務の受託実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>①環境基本計画</li> <li>②生物多様性地域戦略</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務に関係する行政計画の策定経験を有しているかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※過去 10 年間（平成 24 年度～令和 3 年度）以内に実施したもので、現時点で受託中の事業も対象とする。</li> <li>※受託実績がある場合には様式 3 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットの作成実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットを作成するためのノウハウなどを有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※行政機関からの委託業務だけでなく民間団体・事業者からの委託業務の受託実績を含む。</li> <li>※成果物に啓発冊子やパンフレットが含まれている業務を広く対象とする（啓発冊子やパンフレットの作成を主目的としていない業務も含む）。</li> <li>※受託実績がある場合には様式 4 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資格保有者の有無               <ul style="list-style-type: none"> <li>①技術士（環境部門、総合技術管理部門）</li> <li>②生物分類技能検定（2 級以上）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境基本計画や生物多様性地域戦略を策定する能力を有しているか。</li> <li>生物調査の結果（別業務として業務委託）を活用する能力を有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※本業務の従事予定の者に技術士（環境部門、総合技術管理部門）や生物分類検定の保有者がいる場合には様式 5 に必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所の所在地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡調整が迅速、かつ円滑に行えるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※参加表明書にある所在地（競争入札参加者有資格者名簿への登録情報）</li> </ul>
合計		18 点

## (2) 実施体制

### ア 総括責任者…業務全体の進捗などを総括する者

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体からの業務への従事実績               <ul style="list-style-type: none"> <li>①環境基本計画</li> <li>②生物多様性地域戦略</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務に関する行政計画の策定経験を有しているかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※過去 10 年間（平成 24 年度～令和 3 年度）以内に実施したもので、現時点で受託中の事業も対象とする。</li> <li>※従事実績がある場合には様式 3 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットの作成実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットを作成するためのノウハウなどを有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※行政機関からの委託業務だけでなく民間団体・事業者からの委託業務の受託実績を含む。</li> <li>※成果物に啓発冊子やパンフレットが含まれている業務を広く対象とする（啓発冊子やパンフレットの作成を主目的としていない業務も含む）。</li> <li>※従事実績がある場合には様式 4 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること（様式 3 に記載した事業に含まれる場合も様式 4 に再掲すること）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資格の有無               <ul style="list-style-type: none"> <li>①技術士（環境部門、総合技術管理部門）</li> <li>②生物分類技能検定（2 級以上）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する計画の策定や生物調査の結果（別業務として業務委託）の活用する能力を有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※技術士（環境部門、総合技術管理部門）や生物分類検定の保有者がいる場合には様式 5 に必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務への時間の配分率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務が事業者の業務として、適切に履行、管理されていることを確認するための目安とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※令和 4 年度・令和 5 年度における全仕事時間のうち本事業に配分する時間の割合を示すこと。</li> </ul>
合計		16 点

イ 主任技術者…技術担当者に対して指示を出せる権限を有し、委託者との調整を行う者

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体からの業務への従事実績                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①環境基本計画</li> <li>②生物多様性地域戦略</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務に関する行政計画の策定経験を有しているかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※過去 10 年間（平成 24 年度～令和 3 年度）以内に実施したもので、現時点で受託中の事業も対象とする。</li> <li>※従事実績がある場合には様式 3 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットの作成実績</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する啓発冊子やパンフレットを作成するためのノウハウなどを有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※行政機関からの委託業務だけでなく民間団体・事業者からの委託業務の従事実績を含む。</li> <li>※成果物に啓発冊子やパンフレットが含まれている業務を広く対象とする（啓発冊子やパンフレットの作成を主目的としていない業務も含む）。</li> <li>※従事実績がある場合には様式 4 に事業名や受託年度などの必要事項を記載し提出すること（様式 3 に記載した事業に含まれる場合も様式 4 に再掲すること）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資格の有無                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①技術士（環境部門、総合技術管理部門）</li> <li>②生物分類技能検定（2 級以上）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する計画の策定や生物調査の結果（別業務として業務委託）の活用する能力を有しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※技術士（環境部門、総合技術管理部門）や生物分類検定の保有者がいる場合には様式 5 に必要事項を記載し提出すること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務への時間の配分率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務が事業者の業務として、適切に履行、管理されていることを確認するための目安とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※令和 4 年度・令和 5 年度における全仕事時間のうち本事業に配分する時間の割合を示すこと。</li> </ul>
合計		16 点

## 2 企画提案の内容（対象：プレゼンテーション）

※①～⑩については企画提案書に見出しを設けて企画提案を行うこと。

### （1）企画提案の内容

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
①市民・事業者の環境意識に関する調査 （アンケート調査）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境基本計画の改定・生物多様性地域戦略を策定するうえで必要となる環境意識を把握し、計画に反映させることができるか。</li> </ul>	<p>※次の事項などについて示すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 意識調査で把握したい内容、</li> <li>イ アを把握するための設問の設定の考え方</li> <li>ウ 調査結果の分析の仕方、</li> <li>エ 計画の改定・戦略の策定への反映の仕方</li> <li>オ その他必要な事項</li> </ul>
②環境政策・施策の提案に関する技術力	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨子・素案の作成を支援するにあたって豊富な情報を収集・分析する能力があるか。</li> <li>収集・分析した情報を具体的な提案として整理することができるか。</li> <li>提案する施策の必要性とその内容が理にかなったものとなっているか。</li> </ul> <p>※あくまで一般に公表されている情報を基にした提案を求めるものであり、提案内容の実現可能性などを評価するものではなく、情報の収集・分析能力などを確認することを目的とする。</p>	<p>※尼崎市の特徴や国内外の動向などを踏まえ、尼崎市における環境施策として注力すべきものにはどのようなものが考えられるかを示すこと。</p> <p>※①脱炭素社会の実現、②循環型社会の実現、③自然共生社会の実現の3点について、それぞれ環境施策の内容とその施策を必要と考える理由・根拠などを示すこと。</p>
③分野横断的な施策	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野横断的な施策を検討するために収集する情報が適切で、施策に反映する有効な方策があるか。</li> </ul>	<p>※環境・経済・社会の課題を統合的に解決するための分野横断的な施策を検討するにあたってどのような情報を収集し、どのように施策に反映させるかを示すこと。</p>

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
④他都市の計画・戦略との差別化（尼崎市らしさ）	・差別化を図るための方策が有効なものとなっているか。	※他都市の環境基本計画・生物多様性地域戦略とどのように差別化（尼崎市らしさ）を図るか。
⑤国・兵庫県・尼崎市における関連計画との整合・連携	・対象とする関連計画の認識や整合・連携の図り方は適切か。	※環境基本計画・生物多様性地域戦略の関連計画の対象やそれらの内容とどのように整合・連携を図っていくのかを示すこと。
⑥尼崎市における環境の全体像の総括	・総括するための情報の整理・評価の仕方が適切で、市民の環境への理解・関心を深めるためにどのような工夫があるか。	※現行の計画に基づく取組、環境に関する統計データ、国内外の動向を総括し、市民の環境への関心・理解を深めるための内容として取りまとめるための方策を示すこと。
⑦尼崎市環境基本計画【普及版】（成果物）の作成	・計画内容を広く普及させ、理解・関心を喚起できるような内容・デザインとする工夫があるか。	※啓発冊子の配布対象者を意識したうえで、良好な環境の確保の必要性、計画内容などの普及を促すための工夫などを示すこと。
⑧生態系・生物多様性に関する情報の活用	・活用を図るにあたっての具体的な方策が示されているか。	※同時期に別業務として業務委託を行うことで把握する生態系・生物多様性に関する情報などをどのように計画に活用するかを示すこと。
⑨追加的な提案内容	・仕様書にある内容以外で追加的な提案があるか。	※仕様書にある内容以外で本業務をよりよいものにするための提案がある場合は示すこと。なお、この場合は追加的な提案であることがわかるように企画提案書を作成すること。
・業務内容の理解度	・仕様書に基づき目的、実施内容、重要度・難易度を的確にとらえた提案内容か。	※募集要領や仕様書の内容を熟読し、本業務の主旨を理解したうえで企画提案を行うこと。

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
・企画提案書のデザイン	・業務受託後の資料作成能力の参考として、企画提案書の文章、図表などがわかりやすいものとなっているかどうか。	※限られた時間で必要な情報を的確に伝えるための資料（文章の表現、図表の活用）となるよう配慮すること。
・企画提案書の内容の正確性	・企画提案書の内容について理解・認識誤りの部分がないか（誤字脱字程度の誤りは含まない）。	※企画提案書の内容に理解・認識誤りがないよう注意すること。
合計		80点

## （２）プレゼンテーションの様子

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
・コミュニケーション能力	・質疑応答の際の態度は誠実であるか、横柄な態度はなかったか。	—
・取組意欲	・質疑応答の際に、質疑に対する回答に困惑する様子などはなく、明確、前向きな回答ができているか。	—
合計		6点

### (3) 体制

評価項目	評価の視点	提出物作成時の注意事項
・業務に従事させる社員・スタッフの数	・業務を適切に分担させるとともに、各事務・作業における専門知識を活かした体制となっているか。	<p>※本業務の履行に十分な社員・スタッフを確保すること。</p> <p>※従事する事務について委託者からの疑義などに答えられる程度の能力を有する者を担当技術者とする事。</p> <p>※本業務に従事する者（総括責任者、主任技術者、担当技術者）に関する情報を様式5に記載すること。</p>
⑩総括責任者、主任技術者、各担当技術者の役割・責任	<p>・役割・責任を明確にしたうえで業務に臨めているか。</p> <p>・市からの連絡・指示事項が円滑の処理される体制となっているか。</p>	<p>※役割・責任を明確にしたうえで、実施体制を体系的に示すこと。</p> <p>※市からの連絡・指示事項がどのように処理されるかを示すこと。</p>
⑪業務スケジュール	<p>・具体的かつ無理のないスケジュールとなっているか。</p> <p>・生態系・生物多様性に関する情報の把握に関する業務委託を意識したものとなっているか。</p>	<p>※別紙1を踏まえた令和4年度、令和5年度の業務・作業のスケジュールを記載すること。なお、よりよい業務を遂行できると考えられる場合は別紙1のスケジュールについても多少の変更は可能とする。</p>
合計		14点

備考1 総得点数が50%に満たない場合は、不採択とする。

備考2 1社のみ応募の場合は、総得点数が満点の50%以上の場合は採択とする。

備考3 市内事業者については、得点数に10%を加点し、準市内事業者については、得点数に5%を加点する。

備考4 「2 企画提案の内容」において全選定委員が0点と評価した項目がある場合は、その提案は不採択とする。